

## TIMETABLE

- |   |  |
|---|--|
| 5月 22日(木) 前期末卒業説明会(大学)                          | 7月 18日(金) 前期試験開始(短期大学)〔至26日(土)〕  |
| 6月 2日(月) 創立記念日                                  | 19日(土) 前期試験開始(大学)〔至30日(水)〕   |
| 7月 8日(火) 前期授業終了(大学院)                            | 28日(月) 夏期休暇開始(短期大学)〔至9月30日(火)〕<br>(ただし、後期オリエンテーションが<br>9月26日(金)から始まる予定です。) |
| 9日(水) 前期補講(大学院)〔至11日(金)〕                        | 31日(木) 夏期休暇開始(大学)〔至9月30日(火)〕<br>(ただし、後期オリエンテーションが<br>9月22日(月)から始まる予定です。)   |
| 12日(土) 夏期休暇開始(大学院)〔至9月30日(火)〕                   |  |
| 15日(火) 前期授業終了(大学・短期大学)                          |  |
| 16日(水) 前期補講(大学)〔至18日(金)〕<br>前期補講(短期大学)〔至17日(木)〕 |  |

# L'horloge

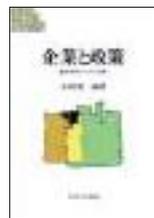
Osaka Gakuin University  
Public Relations Bulletin  
No. 121  
April 2003

## 新刊 紹介



『法人税法精説(平成14年版)』

武田 隆二  
流通科学部 教授 著  
森山書店



『企業と政策 — 理論と実践の  
パラダイム転換』

田中 道雄  
流通科学部 教授 共著  
ミネルヴァ書房



『個人情報保護法と人権  
— プライバシーと表現の自由  
をどう守るか?』

後藤 登  
流通科学部 助教授 共著  
明石書店



『暗号 — ネットワーク社会の  
安全を守る鍵』

笠原 正雄  
情報学部 教授 共著  
共立出版



『Animal Symbolism in Mesopotamia  
— A Contextual Approach —』

渡辺 千香子  
国際文化学科 助教授 著  
ウィーン大学 東洋学研究所

## 大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.121  
April 2003

- 発行 大阪学院大学  
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511  
吹田市岸部南二丁目36番1号  
☎(06)6381-8434(代表)

URL  
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

## 編集後記

連休が終わると、学生の活動は勉学のみならずスポーツにおいても最高潮である。天気はよく、空気はさわやかで、日も長くなる。さて、今日では企業間の競争は国内のみならず、国際的にも厳しくなっている。外国人もたくさん日本企業で働いている。日産のカルロス・ゴーン社長のように強烈な刺激を与える人物もいる。日本人でもノーベル賞を受賞したり、大リーグ シアトル・マリナーズのイチローのように国際スポーツ界で活躍する人もいる。ここまで有名になる人は例外であるには違いないが、学生諸君も一人ひとりが明確な目標意識を持ち、この時期に奮闘することが求められている。広報部もまた、そのような大学の姿を伝えるため頑張りたい。

大阪府教育委員会と協定締結

ESSAY

吉田 正岳

FOCUS

学生食堂

VOICE

スクールボランティア  
活動

キャリアアッププログラムの開設

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST

INFORMATION

新刊紹介

# 大阪府教育委員会と連携協力の協定締結！

平成15年4月10日(木)、大阪学院大学と大阪府教育委員会は、大阪府の教育および本学の教育と研究の充実・発展のため連携協力する協定書を交わしました。



協定書の調印式(大阪府教育委員会にて)

連携協力の内容は、教育の情報化および人の交流の推進を図るとともに、教育上の諸課題に適切に対応することです。具体的には、教育の情報化として、【教職員研修プログラム】において大阪府教育センターと協力し、インターネットを活用した教員対象の遠隔研修の推進を図ります。また、人の交流として、大学生と児童・生徒の交流を図る【大学生参加プログラム】および高校生に学習機会を提供する【高校生参加プログラム】を実施します。

このたびの大阪府教育委員会との協定締結は、平成13年度から吹田市教育委員会と連携しスタートした地域連携事業を、大阪府内の公立学校まで拡大したものです。

そこで、これまでの2年間における吹田市教育委員会、吹田市立教育センターや箕面市教育センターとの連携について、その内容を紹介します。

## 1. 吹田市教育委員会との連携

平成13年度から本学は吹田市教育委員会と連携し、学生を吹田市内の小・中学校に派遣する「スクールボランティア活動」を開始しました。この活動を修了した学生は、[学外研修(ボランティア)] 2単位を認定しています。4月には説明会を開催し、約200名の学生が参加しました(写真右)。



スクールボランティア活動説明会

### (1) スクールボランティア活動の内容

初年度の平成13年度は、実に多様な要請がありました。小学校では校外学習での安全確保を目的とした引率、プール指導、クラブ指導、運動会支援、学習が遅れている生徒の個別指導などです。また、宿泊を伴う臨海学習や校庭にテントを張りキャンプをする「ミニキャンプ」にも積極的に支援を行ってきました。さらに、吹田市内小学校6年生で行う水上大会や陸上大会での模範演技、計時、誘導などの大会運営の支援も行ってきました。中学校ではボランティア活動の多くがクラブ指導でした。

2年目となる平成14年度、11月末現在における支援内容を右表に示しました。幼稚園における保育および吹田市立教育センターの図書データのデータベース化支援が新たに加わりました。

初年度に比べ、平成14年度は確実に活動の規模・地域も拡大しています。この表から改めて、体育的な行事の支援のニーズが多いことが分かります。また、昨年度は比較的小規模校からの支援依頼が強く、本学のスクールボランティア活動に対するニーズが高くなっています。本学では、

平成14年度のスクールボランティア活動の内容			
区分	学校名	支援内容	派遣人数
幼稚園	片山	保育補助	8
	岸部第一	保育補助	1
	南山田	保育補助	6
吹田第二	吹田第二	クラブ(バスケットボール)	4
		クラブ(バレーボール)	2
	吹田東	クラブ(サッカー)	1
		プール指導補助	3
		クラブ(サッカー)	2
		千里第二	運動会
小学校	千里第三	ミニキャンプ	19
	千里新田	夏祭り	13
	岸部第二	プール	2
	山田第三	授業補助	3
	山田第五	プール	6
南山田	南山田	クラブ(卓球)	1
		クラブ(探検)	1
		ミニキャンプ	13
古江台	古江台	プール	3
		プール	6
中学校	片山	総合学習(ラクロス)	20
	第五	選択音楽授業補助	5
吹田市教育委員会	吹田市教育委員会	水上大会	6
		陸上大会	10
吹田市立教育センター	吹田市立教育センター	学校図書データベース化	約30

注) 平成14年11月末現在で合計163名(延べ)の学生を派遣しています。

主に3年次生および4年次生の学生を派遣しており、学生時代に取り組んだ様々な経験を生かすことが、ボランティア活動の特徴でもあります。

なお、初年度はスクールボランティア活動に参加した学生による座談会を開催し、平成15年2月には吹田市教育委員会の事務局と吹田市内の小・中学校の校長先生による座談会(P.8~12)を行いました。

### (2) 吹田市立教育センターとの連携

吹田市立教育センターが実施している教職員対象の研修会の講師として、本学の教員を派遣しています。平成13年度には、国際学部 松本剛 助教授による保健室の先生を対象にした「こころの病気、からだの病気」、法学部 南川諦弘 教授による「学校における事故と責任」、情報学部 笠原正雄 教授による「これからの情報社会のセキュリティ」などの研修に協力しました。平成14年度は、「カウンセリング講座」、「学校事故と安全管理」、「英会話」、「デジタルストーリーテリング」の研修に協力しました。また、情報教育の分野では、本学を会場として教頭会を実施し、Eメールの使い方の実習を行っております。

本学の情報学部 香川修見 教授の講演は、日本情報学会で発表のあった小・中学校の事例紹介と現在の情報教育の実態と今後の方向性というものでした。また、吹田市教育委員会が進められているプロジェクト「インターネット3」(次世代ネットワーク)の顧問である経済学部 白川雄三 教授の講演も行い、パソコン実習室でE-mailの操作実習を実施しました。



平成14年度最後になる教員研修は3月下旬に実習を交えた「LAN構築の基礎」でした。

## 2. 箕面市教育センターとの連携

箕面市教育センターとの連携は平成14年度から始まり、連携の内容は情報教育の研修の講師の派遣です。夏期研修では「Windowsの基礎」、「プレゼンテーション」の研修を引き受けています。今年度は「ネットワーク基礎」、「デジタルストーリーテリング」の研修を追加します。また、「食教育部会」の栄養職員と食教育の指導をテーマにしたCD-ROM教材の共同開発を行っています。このように、箕面市教育委員会とは、教育センターとの連携が中心です。

# ESSAY

8

## 『工房の思想』

紙コップに差し出されたりんごジュースは、かつて味わったことのないおいしいものだった。姫りんごよりも少し大きめのりんごを搾り器に入れ、少女が懸命にハンドルを回す。搾り出されたジュースを紙コップで受け、道行く人々に配る。大好評で黒山の人だかりである。これは高速道路の代わりに

りんご並木を造ろうと呼びかける団体の催しであり、ハンブルク市アルトナ地区の祭典「アルトナーレ」のひとつである。アルトナーレには実に様々な市民団体のテントが並んでいる。中にはタウシュリンク（地域通貨のこと）のテントもある。祭典には市民団体のほかに行政機関もテントを出し、市場で見かける屋台も出る。人出を目指して大道芸人もやってくる。アルトナ駅前が続くメインストリートは、すれ違うのも困難になるほどのにぎわいである。この祭典を支えている中心的な団体の一つが「モッテ(Motte)」というアルトナ地区オッテンゼンにある社会文化センターである。行政が試みて失敗したものを、センターに集う人々は市民の祭典として成功させたのだ。ドイツ社会文化センターといっても、その存在は日本ではほとんど知られていない。逆に、最近の日本でよく使われるNPO（民間非営利組織）という言葉は、ヨーロッパではほとんど通じない。NPOといわずとも、すでに別の用語と活動実態があるからだ。社会文化という用語はその一つで、フランスから始まりドイツで定着した。過去に日本でその活動が紹介されたときは、公民館類似施設や自助活動グループなどと呼ばれたが、その言葉だけでは表現しきれない豊かな活動を展開している。そのセンターのありさまを実際に目の当たりにしたとき、日本の「カルチャーセンター」との違いに驚き、日本はまだまだ文化的に未成熟だという思いにとらわれた。文化に関して未成熟という言葉を使うと、「日本にも立派な日本文化があるではないか、何が未成熟なものか」という反発が出てくるであろう。ここでいうのは、「自力で社会における文化の問題を解決していく、あるいは自前の文化を創っていく」という意味である。この点では、ドイツ社会文化センターを見学すると、日本は明らかに遅れを取っていると思われるのである。これについて「工房」という一例をもって見てみよう。

ドイツ社会文化センターの内部にある工房は大変重要な役割を担っている。私が訪れたケルン・ハンブルク・ライプツヒなど行く先々の社会文化センターには工房が設けられている。これは日本の公民館では見ることのできないものである。陶芸・木工・機械製作・バイク・自転車・ガラス細工・服飾等々の多様な工房がセンターの内部に存在する。これらの工房は本格的なもので、大きな旋盤を備えているところもある。陶器を焼く窯もある。そこでは専門家（職人）が制作をすると同時に教室も開いている。単一の工房ではなく、いくつもの工房があることによって、社会文化センターは複合的な文化施設の内実を備えている。しかも、これらの工房はほかの文化団体、運動団体とセンター内部で有機的な関係を持っている。日本でも職人や芸術家たちがコロニーを形成しているのを見ることはできるが、ドイツのように地域文化を形成する明確な意志を持っているとは言い難い。



吉田 正岳 国際学部 助教授  
主担当科目：倫理学概論・倫理学特論、比較思想  
趣味：ハイキング  
著書：『美学理論の展望』（共著）  
『IT社会の構造と論理』（共著）

故 林達夫はかつて「工房の思想」について語ったことがある。林によると、工房はイタリア・ルネサンス時代の特徴であって、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロをはじめとする天才たちの活動拠点であった。彼らの多面的な活躍は、工房の中での実験とその精神から生まれたものである。ルネサンスの工房では職人の集団が様々な試



みをしたのであろうが、現代の社会文化センターでは、芸術家や職人だけではなく、市民たちが往来する場として工房が開かれているのである。

いわゆる生業としての工房だけでは、その地域の経済性にのみ、あるいはその地域の固有性にのみ、とらわれてしまうことになってしまうのではないだろうか。ドイツでは社会文化センターに工房があることによって、工房で「藝（げい）」に遊びながら触れることもできる。そうした接触から、子供たちは自分が持っている可能性を展開させる場合も生じてくるであろう。また、工房はある場合には職業訓練所のような役割をも果たしている。社会文化センターの工房を見学したとき、多方面での発展の潜勢力を強く感じさせられた。

残念ながら日本の文化施設にはこのような場所は極めて少ない。あったとしても、例えば見学もできるガラス工場のようなもので「藝」を経済的効果と結びつけようとする意図が見えているような所が多い。そのような限界を脱して、地域独自の文化が持てるかどうかを考えれば、ドイツの社会文化センターの方向に進んで行かざるをえないであろう。そして、このような「手」の文化活動が、麻薬対策運動・反自動車公害運動・フェミニズム運動といった市民の諸運動と、演劇・音楽などの文化活動と交流し合える場、表現しうる場となっているのがドイツの社会文化センターなのである。行く先々のセンターのほとんどが舞台設備を持っている。舞台を様々な要素が集まってできる表現の場と考えれば、表現を実現させる装置・人的関係・空間をセンターは内部に抱えていることになる。日本の出版界を先駆けてきた編集者が「この大都市東京には自由に使える空間が本当に少ない」と常々こぼしていたのを思い出した。市民の自主管理による施設運営を目の当たりにすると、かの編集者の嘆きも分かるような気がした。そして、施設自体も例えば「環境問題」を意識して太陽光発電を取り入れるなどの工夫をし、後からも自らの手でリフォームしていくのである。



このように市民のエコロジー運動と文化活動を結びつけていく、それが社会文化である。数年前に見学したハンブルク市エルベ河畔の公園化計画（Park Fiction）は実現し、その過程は2002年に開かれたカッセルの「ドクメンタ11」の作品となった。国際的なアート・シーンは、実は市民公園化活動の拠点であるコンテナ小屋の「ほうきとちり取り」に結びついている。もちろん、「ほうきとちり取り」は公園化を目指す市民たちが自主的に掃除をするための道具である。このような布置はたしかにJ.ボイスのいう社会芸術の道具立てにふさわしいのではないだろうか。

# FOCUS

## 学生食堂

学生の食生活をバックアップする学生食堂。大阪学院大学には四つの学生食堂とカフェテリアがあります。学生食堂は、食事をするだけでなく、コミュニケーションの場としても活用されています。安くておいしくだけでなく健康にいいメニューも魅力の一つです。各食堂が交代(一週間ごと)で19:00まで営業しています。

### おなかもお財布もいやします! いやし系食堂 カルチェ・ラタン



学生に人気の辻店長

レポーター：人気のメニューは?  
 店長：昔から学生に人気のメニューはプルプル半熟卵のカツ丼とダシが自慢のわかめうどんですね。  
 レポーター：ずばり、おいしさの秘訣は?  
 店長：“愛情”という調味料を使っているからですよ!  
 照れながらも味に自信満々の辻店長でした。



和食が中心、ボリュームたっぷりのメニューがそろっています。「うどんのダシはどこにも負けない」と職人気質の店長。そして、もう一つの自慢は学生も一押し「カツ丼」です。シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さんは、なんと一度に3杯も食べたことがあるそうです。

営業時間  
 月～水・金曜日 9:30～16:30  
 木・土曜日 9:30～15:00

- ハイカラうどん ¥150  
 天ぷらうどん ¥250、カツ丼 ¥400  
 小鉢おかず ¥80、大皿おかず ¥200  
 豚カツ定食 ¥450

学生の間で、「ミックス丼」というカツとエビフライを併せたボリュームたっぷりの丼がある! ?との噂が……。

一般のかたも自由にご利用いただけます! お気軽にお越しください。

### おしゃれでホットなカフェテリア K.M.36BANCHI



太陽の光がさし込む大きな窓辺の席は学生に人気の場所。コーヒーを片手に友達との会話も弾みます。おいしいコーヒーが疲れた体と心をリフレッシュさせてくれる素敵なスペースです。自動販売機も設置しています。



営業時間  
 月～金曜日 8:00～20:00  
 (カウンター販売は10:00～15:00)  
 土曜日 自動販売機での販売のみ

- コーヒー ¥180  
 ホットドック ¥150  
 オムライスセット ¥450  
 ケーキセット ¥350

## 大阪学院大学の台所 学生食堂

GO!GO!  
Let's GO!

### より身近に、よりスピーディーに マクドナルド

サンクンプラザ前に、2002年3月にオープンしたマクドナルド(大阪学院大学店)。自分で自由に選んで取る「セルフピックアップ方式」は、北摂で初めての試みです。さらに「学生による自主営業」をコンセプトに学生が主体となって運営するのは、大学だからこそできるものです。この経験は社会に出たときに必ず役に立つことでしょう。



「大学内で授業の合間にアルバイトができる」という時間的なメリットに引かれたことが、このアルバイトを始めるきっかけでした。時間がたつにつれ責任感が芽生え、今では経営的な問題まで考えるようになりました。ぜひこの貴重な経験を後輩にも引き継ぎたいです。  
 企業情報学部4年次生 大西 輝明



左から、大西さん、酒本さん、渡井さん、桑原さん(マネージャー)

営業時間  
 月～水・金曜日 10:30～17:00  
 木・土曜日 10:30～15:00

- ドリンクバー ¥180  
 ハンバーガー ¥59  
 マックチョイス ¥369～

### 本格派! ハヤシライスここにあり どみぐら亭

2002年3月にオープンしたどみぐら亭。関西ではあまりなじみがありませんが、関東ではだれもが知っている“本格ハヤシライス”のお店です。ハヤシライス以外にも、カレーライス、ラーメン、ボリュームたっぷりのランチプレートなどがあります。また、唐揚げやコロケ、味付け玉子がトッピングとして選べます。

「開放感があって居心地がいい! 僕がいちばん好きな場所です。」情報学部4年次生 安村智也



営業時間  
 月～水・金曜日 10:30～17:00  
 木・土曜日 10:30～15:00

- ハヤシライス ¥300、コロケハヤシ ¥350  
 唐揚げカレー ¥350、カツカレー ¥400  
 しょうゆラーメン ¥300、チャーシューメン ¥400  
 味付け玉子 ¥30、サラダ ¥100



### 真心を込めて作っています キャンパス・フード・サービス

「今日は何にしよう?」「大盛りにしてよ!」と元気のいい学生の声が聞こえてくるのは洋食・中華が中心のキャンパス・フード・サービスです。こちらでは健康面でも学生をサポートしようと、すべてのメニューにカロリー表示をしています。また、モーニングセットやお弁当も充実しています。“大学で家庭の味”をモットーにしているため、一人暮らしの学生にとって強い味方です。



営業時間  
 月～水・金曜日 9:30～16:30  
 木・土曜日 9:30～15:00

- マーボ丼 ¥350、オムソバ ¥300、天津麺 ¥350  
 クリームコロケ定食 ¥350、鉄火弁当 ¥350  
 照り焼き弁当 ¥350、三角サンド ¥200  
 ソフトクリーム ¥180



「このチャーハン(¥250)が好きなんです!」企業情報学部2年次生 押部真樹

# スクールボランティア活動

## — 座談会出席者 — (順不同)

吹田市教育委員会 (学校教育室 指導課)	黒瀬 哲也 課長 富田 卓己 指導主事
千里新田小学校	菅沼 和夫 校長
岸部第一小学校	京江 民治 校長
山田第五小学校	川原 一晃 校長
第五中学校	林 義人 校長
片山中学校	曾我部 珠男 校長
事務局庶務課(司会)	高橋 誠

【高橋】 吹田市教育委員会と連携してスタートしたスクールボランティア活動は今年で2年になります。毎年4月にガイダンスを開いていただいている吹田市教育委員会の黒瀬課長から一言お願いします。

【黒瀬】 大阪学院大学のスクールボランティア活動はあしかけ2年になりまして、吹田市内の小・中学校や幼稚園で活躍いただいています。学校というイメージが強いと思いますが、決してそれだけではなく、遊びや特技を生かしたスポーツ活動など、幅広い活動があり、その中で多様なボランティア活動ができることがこのスクールボランティア制度のよい部分であるのではないかと考えています。



黒瀬 哲也 課長  
吹田市教育委員会

【高橋】 黒瀬課長ありがとうございます。それでは初めに先生がたの学校現場で本学の学生がどのような活動をしているのか具体的にお聞かせください。

【京江】 学校には直接きていただいているのですが、吹田市の6年生が集う体育大会と陸上大会で協力をお願いします。年齢的に指導が難しい先生がたも多く、模範演技など目の前で本物を見せることができ、感動も大きかったと思います。非常に感謝しております。

【川原】 山田第五小学校は小規模校で、昨年度からスクールボランティアの学生にきていただき、非常に助かっています。特に今年度は、「山五のサポーター」といった感じで、水泳の時間など全部手伝ってもらいました。

クラブで特技を持っている学生にきていただき、子どもたちは非常に感動

していました。「山五探検隊」という取り組みにも参加いただき、子どもたちが、「大学ってどんなところだろう。」と大阪学院大学を訪問探検したりするなど身近に接していただいています。

【菅沼】 本校は大規模校ということもあり、学校の教育活動については校内でできるのですが、20年続いている「夏祭り」では教職員の男性がくたくたになるほど大変なもので、今回学生に手伝っていただいて、PTAや地域のかたも非常に喜んでおられました。

前任校の校庭でのミニキャンプにもきていただき、学生とのコミュニケーションが取れたことが非常に良かったと子どもたちもいっています。

特に大阪学院大学の場合は、学校の教育活動から少し外れた行事でも、弾力的に協力いただけるというのがいちばんありがたいと思っています。

【林】 平成13年度にサッカーの指導員が不足し、学生に援助いただけなかったというのがきっかけでした。今年は、サッカーの指導から選択音楽の指導までしていただくということで、より距離が近くなってきていると感じております。

一方、中学校の部活動は生活指導の側面も強く、部活動を全面的に指導することには課題もあるかと思えます。

今年度は音楽活動で協力いただいているのですが、子どもの評判も非常によく、担当教諭も助かっています。第五中学校の文化は、「合唱」だと思っていますので、この部分の支援をしていただければありがたいと思います。

【曾我部】 片山中学校では平成13年度の発足当時からサッカー部、ニューメディアクラブ、テニス部の指導でお世話になりました。

どの学生もまじめに一生懸命取り組んでくれ、教職員の評判も非常にいいです。中学校のクラブ活動は、教職員すべてが専門的な技能を持っているわけではないので、基本的な技能を指導していただけるという意味では本当に助かりました。

本校の総合的な学習のテーマは「国際社会に生きる一歩として」で、各分野で学習していますが、世界のスポーツという分野でラクロスの指導に35名近い学生に協力していただき、教室でのオリエンテーションからグラウンドでの基本練習、最後は中学生との試合というところまでサポートしていただきました。

クラブ活動をしている学生は特に礼儀正しいです。必ず私たちにもきちんと挨拶をして、帰るときも使用した会議室をきれいに掃除してくださいました。

ラクロスの道具なども、ラクロス連盟に声をかけていただき、中学生に合った道具を用意して指導していただきました。3年生の選択科目の茶道でも協力していただいています。

大阪学院大学では非常に組織的に活動していただいているので、ありがたいと感じております。

【高橋】 今度は、大学や学生に「もう少しこうしてほしい」という要望などありましたらお願いいたします。



司会  
高橋 誠  
事務局庶務課

【菅沼】 前任校のミニキャンプでの話ですが、学生が学校・地域側の指示通りに動かなかった場面がありました。

しかし、私は今どきの大学生の中には、こういう学生もいるのだというのを子どもたちに見てもらいたい

と考えています。社会には、いろいろな人がいて、子どもたちがそれを体験するのも社会勉強だと受け止めています。だから面接を厳しくして、いい子ばかり派遣してもらおうと、逆に幅が狭くなるのではないかと懸念します。

**[高橋]** 本学のスクールボランティア活動は、まずガイダンスから始まります。その後、自分の特技や、どんなクラブ活動等してきたのか、スクールボランティアで何がやりたいのか、そういった参加する目的を提出し、面接を行います。

小学校は校長先生がたも比較的オープンなのですが、世代が近くなる中学での活動になると、生徒に何かしら影響を与えないかといったことも心配します。

**[曾我部]** これまできていただいた学生はずいぶん人選をしていただいたり、ご指導いただいているということで、おおむね教職員の評価もよかったのですが、今言われたように、中学校の教職員も受け入れる場合に「周りの中学生に影響を与えないか」といったことをいちばん心配しております。

中学生の場合は、どうしても茶髪やピアス、服装、化粧といったものにごく興味・関心があって、そういう指導でずいぶん苦労している事実はあります。教職員のほうの意識として、学生を受け入れる以上は十分に面接したかたをお願いしたいと思っています。

**[川原]** 山田第五小学校は小規模なため、アットホームです。10時ごろから活動されるとすると、その後「給食を食べていってね」と声をかけたりします。夕方にお茶を入れたりもするのですが、そのアットホームな雰囲気の中で子どもたちも「大学生のお兄ちゃん」と言ってすごくなつ

いています。

しかし仲良くなることと同時に、はじめをつけることも重要で、学生たちの自覚が必要でしょうね。そういったことも学校側、大学側ともに留意・指導する必要があると思います。



川原 一晃 校長  
山田第五小学校

**[京江]** 子どもたちに学生がいろいろしてくださいませ。先生が持っていないよい部分を学生が持っていますので、その部分をもっと積極的に出していただけたらいいと思います。事前に担当者や打ち合わせをしますが、「こういうことをしたい」という自分の意志をもっと出せばいいと思います。こちら側のニーズを合わせた形で子どもたちに指導をしていければ、もっと積極的にかかわってもらえるのではないかと思います。

また、学生の力を十分に引き出せていない部分というのは、こちらの責任でもあると思います。もっと引き出す場を作らなければならないと思います。



京江 民治 校長  
岸部第一小学校

**[高橋]** 学生が直接学校に連絡して、自分をアピールする方式であれば学生の特長、個性というのはもっと出しやすいと思います。あくまでも「メインは指導の補助」と言い聞かせていますので、その部分が学生の個性を出にくくしているのかもしれない。

しかし、学校のニーズに合わせて支

援するという意味では、学生と学校の仲介をする今の方式でいこうと思っています。

**[京江]** あらかじめ慎重に学生と面談をしていただくと、学校として子どもを預かっている立场上助かるのですが、前段階に担当教師と十分な打ち合わせをしますので、その中で本当に学生の思いを大事にしてあげたいと思います。

同じ1時間を子どもたちと過ごすのであれば、両方にメリットがなければ続いていかないと思います。もちろんボランティア活動にきていただくことに対して教師も大変感謝しています。学生も子どもと接するうえで目的を持っているでしょうし、その中でこうしてみたいと考えていると思います。それをどんどん学校にぶつけていただけたらいいと思います。

やらされているのではなくて、“自分も一緒にやっているんだ”という意識を持っていただくことが、子どもと近くなるいちばんの道ではないかと思っています。

**[高橋]** 先生に言われたことしかやらない、やれないというボランティアではなくて、自分を表現することを含め、ボランティアを通じて学生が“学ぶ”ことが大切なのでしょうね。京江校長先生のおっしゃることは学生に十分伝えたいと思います。

**[川原]** 単位修得にかかわらず学生が進んで協力してくださるんですね。学校は非常に協力してもらっているのですが、「そこまで頼んでもいいのかな」と思うときもあります。「ボランティア冥利」というのが学生の中に芽生えていったのでしょし、全部頼んでもいいのかなと思ながらも一年間協力いただきました。

**[林]** 中学校のクラブ指導者の場合、専門的な顧問がいなくなると、存続

か廃止かという話になります。名前だけでも存続させようとする指導者をつけることになって、この活動にお願いしました。

そういう場合、担当クラブ以外に兼任する顧問はボランティアの学生に全面的にクラブ指導や運営までを期待するようになります。学生なので授業のこともあり、「明日きてくれるのかな」ということもあります。兼任する顧問としては、そういう調整も窓口である大学でやってもらえないかという意識まであるんですね。

これは私たち中学側の課題でもあると思いますが、クラブ活動で本当によくいくためには、ある程度積極的にクラブ運営に携わろうという教諭がいて、それを補助する学生とがよき“パートナー”にならなくては続かないのではいでしょうね。

この前、吹田東小学校の校長先生と話をしていたところ、「大阪学院大学の学生はほかの大学の生徒よりも非常に生徒との接し方がスムーズである」ということに感心しておられました。そういう大阪学院大学の学生のよさをもっと生かしていく。ほかの大学にないよさを持っておられると思いますので、ボランティア先の学校の評価といったものを収集していただければ、学生の励みにもなるのではないかと思います。



林 義人 校長  
第五中学校

**[高橋]** 今日のお話の中で小学校と中学校では学生の派遣についても使い分けが必要であることを感じました。この制度を充実させるためにはどうすべきかといったことを担当者のほうでも考えていきたいと思っています。

最後になりましたが、ボランティア

学生が参加するときの心構えと、先生がたからのメッセージがあればお願いいたします。

**[菅沼]** こちら側の姿勢もあるのですが、学生に協力いただいている本校の行事には地域・PTA・学校の3者がかかわっていて、船頭が多くいること、学生もどの人の言うことを聞いたらいいか分からないという状況があると思います。

それから、常々“ボランティア活動”という表現がちよっと引っかけたのですが、これは“体験”ではないかなと。大阪学院の場合、単位・時間的に余裕があり、ボランティアの気持ちもある4年生を中心に活動をするという方向性は正しいと思います。

アメリカンスクールでは、学力優秀・学習態度よしという二重丸の生徒が称号としてボランティアをします。ですからボランティアができるということをもっと誇りに思っていますし、「やってあげて」という意識は全くなし、「させてもらっている」のだと。そこまでの意識があつてボランティア活動といえるのだと思います。

ごみ拾いにしても、「拾ってあげている」ではなく「拾わせてもらっている」といった感覚が、私はボランティア活動だと思っていますので、あくまで活動ではなく、そういう体験を卒業するまでに学生にさせておく、これは大事なことだと思います。何もせずに社会に出るのとはずいぶん違います。

そういう意味では仰々しくとらえず、学生が社会体験をすればいいと思います。



菅沼 和夫 校長  
千里新田小学校

**[京江]** 私はやはり、学生がもっと自分の考えを出されたいと思います。水泳・体育大会でしたら、演技をすることだけが学生の仕事ではなく、せっかく学校にきていただけるのですから、学校の教育活動の全体を見て、もっと積極的にかかわっていただけたら、よりよい関係になると思います。

**[川原]** 手伝いに来る中で学校の実態を見ていただき、「問題がある」と感じた場合に「こうしたらどうでしょうか」といった姿勢になったら、学生もボランティアをやってよかつたと感じると思います。

例えば2時間目と4時間目という授業の受け持ちがあるとします。すると3時間目が空いているのでその間授業を聴いて手伝いをするとか、4時間目だと給食を食べます。5時間目だと総合学級の手伝いをします。そういう活動を通して先生とのつながりができるし、子どもともつながりができます。学生がボランティアをやっている姿がよかったと思える関係を築くのがいちばんではないかと思っています。

学校に指示されたことだけをするのではなく、学校の実態に合った活動のできる範囲です。そうすれば非常によい関係ができると思います。**[曾我部]** 大阪学院大学がこういった制度を運営されるのは、すごく大変だったと思います。ほかの大学の様に「こういう学生がいますよ」という一覧表を小・中学校に配りまして「学生に連絡してください」といったやり方も立派ではあると思います。

ただ、そういうやり方の大学は、学生の意識がそこまで高まっていないと思います。

実際にこちらから連絡した場合、学生のほうから「もうほかの学校で、こういう内容でいくことに決まりま

## キャリアアッププログラム「ホスピタリティコース」の開設

した」と言われて、どちらかといえば早く単位が取れる、楽なボランティア体験といった方向に行きがち傾向にあるようです。受け入れる側としては、学生と学校の仲介をした、組織的にきちんとやっていただいているものはありがたいと思っています。しかし、大学の指導の体制がずいぶん大変であると思いますので、人選や面談はしっかりやっていただき、後は受け入れる学校で直接に学生と「こういう形がかかわってくれますか」と直に説明する、それでいいのではないかと思います。

また、中学校のクラブ活動の場合、専門の指導者がいないからといって、指導全般も含めて大阪学院大学の学生に求めてもよいのかなと思います。学生は当然本業がありますし、そこまで時間を取ってもらうわけにはいかないのではと私は思います。

専門的な技術を中学校は求めていますので、短時間でいいですから、いろいろな分野で構えずにきていただいて、受けるほうも柔軟に受け入れられる体制を構築できれば、活動の幅も広がるのではないかと思います。



曾我部 珠男 校長  
片山中学校

【林】 本校は総合的な学習の時間を、地域のかたがたと交流することを一つの柱としております。こういった総合的な学習の時間でも、この制度を通じて連携していただければありがたいと思っております。

今後、地域にある小・中・大学ということで、いろいろな勉強をしていただいて、学生が地域で生き生きと、大阪学院の学生のよさを引き出すような取り組みを作り出してい

ればと思っております。

【高橋】 最後になりましたが、2年間この活動にご協力いただきました吹田市教育委員会の富田指導主事に締めくくりの言葉としてお願いいたします。

【富田】 ちょうど2年前にスクールボランティアのガイダンスに呼んでいただき、思った以上に学生が集まりびっくりしたのをこの間のことのように思い出します。

その中で話をさせていただいたのが、菅沼校長の話にもありましたように、学生に「ボランティアを体験しませんか」といった呼びかけをさせていただきます。

全体的に押さえないてはならないところがあると思いますが、気楽な中で学校に行けるのがいちばんだと思います。

2年という短期間で大阪学院大学の学生の参加数にかなりの増加が見られました。大阪学院大学のいいとこ

ろは、ニーズに直結しているところです。複数人に手伝ってほしい学校があった場合、相談する中で、希望に合った形で学生を集めていただけたと思っています。今後もますます発展していけるように吹田市教育委員会といたしましてもバックアップしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



富田 卓己 指導主事  
吹田市教育委員会

【高橋】 これからもスクールボランティア「体験」を「活動」と呼べるように高めていきたいと思います。先生がた、学生が行きましたときにはご指導のほどよろしくお願いたします。

今日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



昨今の産業構造の急激な変化に伴う企業が求める人的資源のニーズが量から質へと大きく変化し、職域の専門性を有した人材を即戦力で採用する能力主義人事システムへと向かっています。本学では、こうした状況に対応するため、実学教育を中心とした「キャリアアッププログラム」を開設し、将来 就職を希望する業界の知識を在学中に教育し、就職活動をより有利に行えるよう、また、企業の即戦力として社会で活躍できるよう教育します。平成15年度は、ホスピタリティ産業（ホテル・旅行・航空・外食産業など）を対象とした、ホスピタリティコースを開設します。

### 【ホスピタリティコース概要】

ホスピタリティコースは、将来、ホテル・旅行・航空・外食産業などに就職を希望している学生を受講の対象とし、大学・短期大学の1年次生から受講が可能となっています。受講方法は、「コースの受講」および「科目の聴講」を用意し、希望者は、自分の受講スタイルに合った方法で受講することができます。

開講科目は、A群（大学・短期大学で開講のホスピタリティ関連科目6科目）、B群（コースに開講のホスピタリティ関連科目14科目）に分け開講し、科目内容はホテル・航空・観光に関する専門講義が10科目、ホスピタリティ産業に必要とされる基礎および応用知識に関する講義が6科目、ホスピタリティ産業に適合する人材教育に関する講義が3科目となっています。また、留学や海外インターンを希望する受講生には、語学運用能力を高めるため英語表現法を内容とする科目を開講し、授業はハワイと本学を結ぶ遠隔講義を実施します。そのほか、夏期休暇中に集中講義も併せて実施します。

同コース担当者は、業界における実務経験豊富な講師で編成し、受講生は体系的かつ実践的な講義を受講しながら理論を実務に生かす運用力を身につけ、さらに社会人として強化すべき基礎的な人格教育を受講します。同コースの一部科目には、産学連携の一環として日本航空と提携し、JALツーリズムプログラムを取り入れています。

コース受講2日目には、グローバルに活躍できる人材養成のための実務研修として、ホスピタリティ産業でのインターンシップを実施します。インターンシップの受け入れ先は、リーガロイヤルホテル、ハイアット・リージェンシー・オーサカ、箱根富士屋ホテル、JTB、JALなどとなっています。また、国際センターと連携し、コースを受講しながらハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジにおいて、ホスピタリティに関する知識をより深く身につけることを目的とした留学を実施します。なお、留学先の現地企業（ホスピタリティ産業）においてインターンシップに参加することができます。

このように、ホスピタリティコースでは、プロフェッショナルなスタッフによる実学中心の講義を実施するとともに、国内・海外におけるホスピタリティ産業でのインターンシップによる実務研修を行い、受講生がその業界における即戦力として活躍できるよう教育を行います。



### 【ホスピタリティコース開講科目一覧】

開講科目	
A群	旅行業務
	ホテル業務
	航空業務
	観光企業論
	観光事業論
	ホテル事業論
B群	ホスピタリティマーケティングⅠ(プライダル)
	ホスピタリティマーケティングⅡ(ツーリズム)
	ホスピタリティコミュニケーションⅠ(ヒューマンリレーション)
	ホスピタリティコミュニケーションⅡ(ビジネスマナー)
	ホスピタリティコミュニケーションⅢ(英語表現)
	サービスマネジメント論Ⅰ(CS実践研究)
	サービスマネジメント論Ⅱ(概論)
	ホスピタリティビジネス論Ⅰ(エアライン)
	ホスピタリティビジネス論Ⅱ(レジャー)
	ホスピタリティ情報システムⅠ
	ホスピタリティ情報システムⅡ
	ホスピタリティマネジメント論Ⅰ
	ホスピタリティマネジメント論Ⅱ
	インターンシップ(ホテル・航空・旅行)

■はJALツーリズムプログラムの科目



# CAMPUS LIFE

## 「JALインターンシップを終えて」



経済学部 4年次生  
京谷 有記

### SPOT

私は幼いころから飛行機が好きで航空業界で働くことが夢でした。しかし、航空業界は競争率が高い職種ということでいつの間にかあきらめ、夢を忘れていました。

大学4回生の春を迎え、そろそろ自分も将来の進路を考えなければならない時期に入りました。私はまだ自分の進むべき道が定まっておらず、将来への不安と闘っていました。そんなとき、日本航空の学生インターンシップの募集があることを知りました。私はいつしか忘れていた幼いころの夢を思い出し、一度きりの人生だから、もう一度夢にチャレンジしてみようと思い、思い切って応募しました。結果は運良く合格！夢のようでした。

こうして私の春休みはJALのグランドホステス(KD)として幕を開けました。「あこがれのJALの制服をまとい、有名人とお近づきになれるかも……。」と不純な妄想を抱き、出勤初日を迎えました。なんと朝の4時に起床し、夜は9時まで勤務です。仕事内容もとてもハードで、乗り遅れそうなお客様と機内まで走ったり、搭乗されていないお客様を大声で探し回ったりと空港中走り回る、グランドホステスとはまさに体力勝負です。せっかくの制服も台なしです。ましてや有名人など、とてもお近づきにはなれません。そのうえ朝がとても早いので眠いです。思い描いていた華やかな世界とは全く違い、私は初日から目が回りそうでした。

二日目からは搭乗口での仕事を任せられました。飛行機を迎え入れ、お客様の乗り降りのお手伝いをする仕事です。今まで飛行機はパイロット一人の力で飛んでいると思っていましたが、ほかにフライトアテンダント、整備士、警備士、グランドホステス、そしてお客様、みんなの力が一つになり、やっと飛ぶことができると知りました。飛行機を送り出すときは、毎回感動の嵐です。搭乗されるかたがたに「行ってらっしゃいませ」と声をかけ、フライトアテン

ダントとコンタクトを取り、整備士が飛行機と空港を切り離し、送り出します。実際、飛行機が出発した際何ともいえない達成感が胸がいっぱいになりました。そのとき私はインターンシップが終わってもこの仕事をやりたい、一度はあきらめてしまった夢を、もう一度頑張ってみようと思いました。

皆さんも忘れてしまった夢はありませんか？これから進路を決めるかた、今、迷っているかた、たくさんおられることでしょう。夢はあきらめるとそこで終わってしまいます。夢は叶えるためにあるものです。一緒にチャレンジしましょう!!



## 春期海外研修

### ハワイ大学春期研修

ハワイ大学春期研修は、語学研修と実際の異文化体験を通し視野を広めることを目指しています。今回は、10名の学生が参加し、英語研修、現地学生との交流、寮生活を通してのキャンパスライフを体験しました。



ハワイに着いた当初、何をしても不安ばかりでしたが、この研修を終えた今では自信に満ちあふれています。それは語学力だけでなく、相手とのコミュニケーション、自分自身の積極性、そのほか様々な面で自分に自信がついたと思います。

ハワイでの生活を振り返って思うことは、ゲーム感覚で進められる授業がとても楽しかったということです。授業を担当してくれたジョナサンは私たちが間違えた回答をすると、明るく“Don't worry”と励ましてくれる、そんな先生でした。授業で5回あったインターチェンジの時間は本当に楽しかったのですが、一度だけ一人で授業を受けたことがあり、そのときのことをはっきりと覚えています。一人だと相談する相手もなく自分一人で聞き取らなければならなかったり、事前に考えておいた質問を全部聞くと、次に何を聞いていいのか困りました。それでもインターチェンジでハワイ大学の学生と英語で会話できたのはとても貴重な体験です。

この研修で得たものは計り知れないくらい多く、1日1日が発見の連続でした。素晴らしい体験ができたのも、多くの人々の支えがあればこそできたもので、本当に感謝しています。



情報学部 4年次生  
西山 満夫

### ワイカト大学春期研修

今回のニュージーランドへの研修は、英語に興味があり大学生活を充実させたいという動機からです。ニュージーランドについての事前知識はほとんどなく、着いたときは自然の多さに驚きました。特にハミルトンは美しい町でした。

ホストファミリーは気さくなかたたちで、不満どころか、こちらからもっと積極的に話しかけていくべきだったと少し後悔しています。ホストファミリーとのコミュニケーションが楽しく、もっと自分を知ってもらおうと思いました。

大学ではウェンディという名前の先生に教わりました。彼女は私たちが疲れから授業中だらけているのを見ると、おもしろいことをして和ませてくれました。3週間授業を受けましたが、常に笑顔の絶えない温かい人でした。

今回の研修でいちばん強く感じたことは愛情です。お世話になったホストファミリーは家族が仲良く、本当の意味で支え合っていました。この経験を基にさらに勉強に励み、これからもホストファミリーとのつながりを大切にしたいと思います。



企業情報学部 3年次生  
吉川 隆文

ハミルトン市（ニュージーランド）に位置し、豊かな自然に恵まれたワイカト大学で9名の学生が英語研修を受けました。参加者はLanguage Instituteでの授業、アクティビティ、ホームステイを通じて異文化に触れ、相互理解について深く考え学びました。



### カナダ スキー・スノーボード研修

バンクーバーの北、車で約2時間の距離にあるリゾート地、ウィスラーでのスキー・スノーボード研修です。今回は10名の学生がCSBA(カナダスノーボードインストラクター)によるレベルに応じたスノーボード研修を受けました。



以前からずっと行きたいと思っていたこの研修に、ついに参加しました。1回生のときに初めてスノーボードに行き、その魅力に取りつかれた私は、今ではスノーボードが趣味となり毎年国内で北海道や長野へ行ったりしています。

出発の当日、羽田でトラブルがあり飛行機が飛んでないということで不安になりましたが、関西国際空港からロサンゼルス経由で飛行することになりました。長旅の末、カナダのホテルに着いたのは夜の12時を過ぎていました。翌日からインストラクターの先生に滑りを見てもらい、2つのグループに分かれ、上手くなるために先生に言われたことを忘れないように滑りました。順調に上達し、テストのときは軽びながらも最高の滑りができたと思います。

このレッスンの成果を生かして将来インストラクターになりたいと考えています。レベルアップして次回もこの研修に参加したいと思います。



経営科学部 4年次生  
大道 真由美

## インターンプログラム

### ハワイ・インターンプログラム

ハワイ州の小学校・中学校・高校を訪問し、実際に日本語を教えます。また、ハワイ州教育局が主催する教育系の国際会議においてプレゼンテーションを行い、本学の授業へのテクノロジーの導入例などを紹介します。



私は今回、ハワイ・インターンプログラムに参加しました。海外へ行くことが初めてで、英語にも自信がなかった私は、I-Chat Loungeの友達や大学の先生、国際センターのかたがたに手伝っていただきながら、ハワイへの準備に没頭する毎日でした。

今回、日本語教員としてアオフ島にあるジェームスキャンベル高校とイリマ中学校に行き、実際に日本語の授業を行いました。生徒たちの日本語能力にばらつきがあり、ほとんどの時間は英語でのコミュニケーションとなりましたが、ある意味、自分自身を試す機会にもなり、事前準備が本当に役立ちました。授業では自分のことや日本の文化、経済について写真やビデオを用いて説明し、イラク戦争についても討論するなど世界的な視野で物事を考える一歩にもなりました。

ハワイ州教育局が主催する国際会議E-schoolカンファレンスでは、インターンシップの総まとめとなる英語でのプレゼンテーションに参加しました。

このプログラムに参加して、ハワイの文化を学び、私にとって貴重な経験を多く得ることができました。一人という不安はあったものの、現地では多くのかたがたにお世話になり、深く感謝しています。このプログラムで得た経験を生かし、今後のさらなる語学力向上を目指し、努力していきたいと考えています。



国際学部 3年次生  
辻 景子

### シンガポール・インターンプログラム

私は今回シンガポール紀伊屋書店でのインターンシップに参加しました。シンガポールは多民族国家で、東西文明の十字路口といわれる国です。多民族、多文化、多習慣が混在しており、顧客が何を欲しているのかわかむ必要があります。ここにシンガポール独特のおもしろさがあるのです。シンガポールは小さい国ですが、四つの大書店があります。各書店が顧客の心をつかむためにどのような工夫をしているか実際に見学し、自分が顧客の視点になって調査しました。その結果、あらゆる客層をターゲットにし、いちばん顧客のニーズをとらえたのは紀伊屋書店でした。どの書店よりも豊富に本を取りそろえ、一冊でも多くの本に目を向けさせようと棚の配置に工夫をこらしていました。こうした営業戦略が紀伊屋書店の特徴でした。

研修を終え、ある日私はコンビニエンスストアに行きました。そして自分では無意識のうちに他店と比較をしているのに気づきました。私は将来コンビニエンスストアのOFC（店舗経営指導員）や顧客に密着したコンサルティングをしたいと考えています。今回の研修とは違ったものですが、マーケティングという観点では共通する部分があると思います。研修で学んだことを今後十分に生かして頑張ります。



外国語学部 4年次生  
萱野 陽介

成長著しいアジア経済において「生きたビジネス英語」を実感しながら現地日本企業で職務を体験します。また、現地のかたとの触れ合いを通して、日本に求められているものを学びます。アジア社会を視野に入れて将来を見据える精神を養うことを狙いとします。



### オーストラリア・インターンプログラム

イギリスやアメリカなどと同じ英語圏でありながら、独自の文化を有するオーストラリアのビジネス現場において、新聞社、旅行会社、貿易会社など、将来就職を希望する業界での実務体験を行います。



私がこの研修に参加したきっかけは、将来旅行関係の仕事に就きたいと考えていたからです。正直なところ、就職活動まっただ中のこの春休みに、3週間日本を離れることには抵抗がありました。しかし、今しかできない、今行かなければ後悔すると思い参加を決めました。

現地で苦労したのはホストファミリーとのコミュニケーションです。それは私が今回この研修に抱いていたいちばんの不安でした。言いたいことがうまく伝えられず戸惑うこともありましたが、ホストファミリーは以前にも何人か留学生を受け入れており、とても親切に接してくれたので私も徐々に打ち解けることができました。

仕事は三つの旅行会社を1週間交代で回り、オフィス業務やガイドの仕事を経験させてもらいました。3社で実務経験することで職場の雰囲気、仕事内容をより広い視野でとらえることができたと思います。

インターンシップのメリットは就職する前に実際の業務に携わることができ、そこで自分の適性を見極められることです。私はインターンを通して、アルバイトとは違う責任感や社会への貢献を学びました。このインターンでの貴重な経験を生かし、これからも頑張っていきたいと思っています。



外国語学部 4年次生  
加藤 智絵

## CLUB ACTIVITIES

### CLUB ACTIVITIES

### 放送局

私たちは放送部ではなく放送局という名前で活動しています。日本には多くの放送局があり、各々がその土地の人々に大切な情報を伝え、なくてはならない存在となっています。私たちも大阪学院大学にとって、なくてはならない存在となれるように日々努力しています。

現在放送局は男子8名・女子3名の11名で活動しています。主な活動は毎日行う校内放送のほか、DJ・音楽番組作りを行い週3回昼休みに放送をしています。大きな活動としては新入生歓迎会や岸辺祭の司会・進行・音響を行い、ほかのクラブからの依頼もあります。また、自分たちの作品を発表できる機会として一年に一回開催される放送祭があります。学外での活動としては、NHK大学放送コンテストへの出展があります。活動のないときは自由に部室に集まり楽しく過ごしています。



#### 〔局長・次長対談〕

（局長） こんにちは。局長の木村です。

（次長） 次長の岸本です。

（局長） 私たち放送局はごらんのとおり局長・次長のトップが女子です。

（次長） ですから、女子がとても入りやすい環境だと思うのです。

（局長） 現在は男子のほうが多いですが、1年次生から4年次生まで男子も女子も全員仲がいいのが特徴です。

（次長） あと、私たち放送局ではプロを目指している人も何人かいます。

（局長） 実際OBのかたでプロのDJとして活躍しているかたもいるのですよ。

（次長） もちろん「まだそこまで考えないんですけど……」という人でも大歓迎です。

（局長） こんな放送局に興味がありましたら、ぜひ部室に見学にいらしてください。



左：局長 外国語学部 英語学科 4年次生 木村 佳奈子  
右：次長 経済学部 4年次生 岸本 ゆかり

# CLUB SCHEDULE

CLUB SCHEDULE

## 体育会系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
アメリカンフットボール部	5月17日(土)～6月15日(日)	関西アメリカンフットボール連盟西日本大会	長居球技場 ほか
弓道部	5月24日(土)・25日(日)	関西学生弓道選手権大会	グリーンアリーナ神戸
硬式庭球部	6月28日(土)～7月7日(月)	関西学生夏季テニストーナメント予選	各大学テニスコート
	8月14日(木)～27日(水)	関西大学対抗テニスリーグ戦(2部)	各大学テニスコート
硬式野球部	3月29日(土)～5月26日(月)	関西六大学野球連盟春季リーグ戦	西京極球場・南港球場・舞洲球場 ほか
ゴルフ部	5月12日(月)・13日(火)	関西学生女子春季1部校学校対抗戦	奈良万葉カンツリー倶楽部
	5月26日(月)・27日(火)	関西学生男子春季1部校学校対抗戦	宝塚ゴルフ倶楽部
	6月2日(月)	関西学生女子選手権予選	フォレスト市川ゴルフ倶楽部
	6月23日(月)	関西学生選手権予選	滝野カントリー倶楽部(八千代コース)
サッカー部	4月6日(日)～5月11日(日)	関西学生サッカー春季リーグ(2部)	各大学グラウンド
女子バレーボール部	4月20日(日)～5月25日(日)	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(4部)	各大学体育館
卓球部	5月3日(土)～11日(日)	春季関西学生卓球リーグ戦	松下電器体育館 ほか
日本拳法部	5月25日(日)	高槻市連盟会長杯大会	高槻市立総合体育館
	6月1日(日)	全国学生学生選抜選手権大会	早稲田大学体育館
	6月22日(日)	西日本学生拳法個人選手権大会	洗心館
	7月13日(日)	全日本総合個人選手権予選	洗心館
バスケットボール部	4月19日(土)～5月5日(月)	関西学生バスケットボール選手権大会	東淀川体育館、各大学体育館 ほか
	5月24日(土)～6月1日(日)	西日本学生バスケットボール選手権大会	大阪府立体育館 ほか
	6月28日(土)～7月13日(日)	大阪学生バスケットボール選手権大会	各大学体育館
バドミントン部	5月4日(日)～5月30日(金)	関西学生バドミントン春季リーグ戦(1部)	東淀川体育館 ほか
	6月3日(火)～19日(木)	関西学生バドミントン選手権大会	大阪市立中央体育館 ほか
ハンドボール部	4月13日(日)～5月24日(土)	関西学生ハンドボール春季リーグ戦(4部)	東淀川体育館 ほか
バレーボール部	4月12日(土)～5月25日(日)	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(2部)	各大学体育館
洋弓部	4月6日(日)～5月17日(土)	関西学生アーチェリーリーグ戦(1部)	各大学洋弓場
陸上競技部	5月13日(火)～16日(金)	関西学生陸上競技対校選手権大会	長居陸上第2競技場
	7月4日(金)～6日(日)	全日本学生陸上競技対校選手権大会	横浜国際総合競技場

## 文化会系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
文化会本部	6月9日(月)～14日(土)	文化・学術祭	本学学内
アメリカ民謡研究部	6月20日(金)	春季定期演奏会	光明アムホール
茶道部	未定(6月上旬)	春季茶会	1号館01-01教室(和室)
写真部	5月29日(木)～6月4日(水)	学外展	心斎橋ビルゼンギャラリー
書道部	6月20日(金)～22日(日)	学外展	岸部市民センター
心理学研究会	6月4日(水)～6日(金)	学外展示	岸部市民センター

## 独立系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
吹奏楽部	6月1日(日)	全日本学生吹奏楽連盟 第39回大学バンドフェア	尼崎市総合文化センター アルカイックホール

※現在未定の行事・大会につきましては、随時詳細が決まり次第ホームページでお知らせします。  
[http://www.osaka-gu.ac.jp/new\\_club/report/index.html](http://www.osaka-gu.ac.jp/new_club/report/index.html)

# 学生相談センターだより

## 鏡の中の自分

カウンセラー 山本 三郎

あなたは鏡をよく見るほうですか？それともあまり見ないほうですか？

片時も鏡を離せない人、講義中も鏡に見とれている女子学生、電車の中で念入りに化粧をする女性に至っては、周りがまったく見えないどころか、変身していく自らの姿を鏡という別世界の中に見ているかのようにさえ思われます。

これとは逆に、ここ数日あるいは数か月、鏡を見たこともない青年もいるようです。このような人は、もしかすると自分を見るのに耐えがたい何かがあるのかもしれませんが。実際自分をじっと見つめることは苦しいときもありますから……。

鏡には不思議な力があるように思ったことはありませんか。鏡に映る自分が毎日のように変わって見えたりしませんか。きっと鏡は自分が気づいていない自分の心を映し出しているのかもしれませんが。神社仏閣には鏡が祭壇の中央に飾られていたり、鏡をテーマとしたホラー映画や話がよくあるのは、鏡に不思議な力が宿っていると昔から考えられているからでしょう。

ところが、鏡は必ずしも真実のあなたを映しているわけではありません。右手に持ったペンは鏡の中では左手に持っています。右目でウインクすると鏡の中のあなたは左目でウインクしています。鏡に映し出されるあなたの姿は左右逆であり、ひょっとすれば真実のあなたはまったく別人かもしれません。一度自分を見つめ直してみたいかがでしょうか。鏡に映し出されない自分、その向こうに潜んでいるかもしれない自分、自分にも分からない自分に出会ってみませんか。学生相談センターにそのお手伝いができるかもしれません。その方法は様々です。子どものころに傷ついた自分と語り合うのもいい、「夢」を味わうのもいい、「箱庭」もいい、「性格診断テスト」も面白い結果が出るかもしれません。自分にも分からない自分に気づくことは何か怖い気がしますし、少し勇気がいるかもしれませんが。でも、怖さを乗り切れることは実は快感につながるということを、あなたは今まで何回も体験しているに違いありません。学生相談センターはそんな体験のできる場所です。もし迷っているならば、一度思い切ってお越しください。

### 相談したいときは

- ◆ 直接、学生相談センター「3号館6階」まできてください。
- ◆ 保護者や友人と一緒に、また保護者のみでも相談できます。
- ◆ 電話での相談や予約も、受け付けています。
- ◆ 相談内容の秘密は厳守されます。

### <相談時間>

学業・進路・就職・生活全般 月～土曜日 9:00～17:00  
 心理相談 月～土曜日 10:00～16:00

※日・祝祭日および事務休業日はお休みです。1回の相談時間は、原則として1時間以内ですが、継続して利用できます。どんなことでも結構ですので、気軽に学生相談センターを訪ねてください。

学生相談センター受付電話 (06) 6382-0266

# CAMPUS NEWS DIGEST

## 人事

新任  
〔平成15年4月1日付〕



法学部  
中山 勲 教授  
担当科目  
法学特別講義Ⅱ・Ⅲ、  
ゼミナールⅠ・Ⅱ



国際学部  
中田 辰也 講師  
担当科目  
英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



国際センター  
R.グッドマン 客員助教授  
担当科目  
英語基礎会話Ⅰ、  
英会話Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ



国際センター  
K.A.マウ 客員助教授  
担当科目  
英語基礎会話Ⅰ、  
英会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



国際センター  
N.ポルクヤール 客員講師  
担当科目  
フランス語基礎会話Ⅰ・Ⅱ

退職  
〔平成15年3月16日付〕

国際学部 中井 稔 教授

〔平成15年3月31日付〕

流通科学部	北本 駒治 教授
経済学部	本村 輝夫 助教授
外国語学部	小林 察 教授
国際学部	工藤 一郎 教授 ※平成15年4月1日付 教育嘱託職員
	和田 雅夫 教授
	渡辺 悦男 教授
	L.A.トンプソン 助教授
	森 慎一郎 講師
経営実務科	足立 典照 助教授
国際文化学科	有賀 照房 教授
	牧田 貢 教授
国際センター	L. H. ヒガシ 客員助教授
	L. レヴィ 客員講師
	久志 助良 教育嘱託職員

## 入学式



〔4月4日(金) 体育館〕

平成15年度 入学式が執り行われ、大学2,128名、大学院54名、短期大学117名、計2,299名の新入生が希望に胸を膨らませ入学しました。

白井総長が冒頭で新入生に励ましの言葉をかけられ、また、本学の建学の精神と教育理念が語られました。学生の皆さんにとって新しい学生生活がスタートしました。

## プレオリエンテーション



〔2月16日(日)・22日(土)・3月2日(日)・15日(土)〕

入学前に大学生活への不安を解消してもらいたいという目的で、入学生を対象にプレオリエンテーションを実施しました。20人前後のクラスに分かれ、在学生の話を聞いたり自己紹介を交えたゲームを行うなど、新しい仲間との交流を図りました。そのほか、授業の取り方についても説明を行いました。初めは緊張した面持ちだった学生たちも、少し不安がぬぐえたようでした。

## 新入生歓迎会



〔4月9日(水) 17号館噴水前特設ステージ〕

新入生たちが一日も早くキャンパスになじみ、多くの友達ができるように、新入生歓迎実行委員会主催による「新入生歓迎会」を開催しました。クラブ紹介やタレントライブ(シャンブーハット、チュートリアル出演)などの多彩な企画が繰り広げられ、新入生たちはこれから始まる大学生活に夢と希望を膨らませ、春の日ざしの中、楽しいひとときを過ごしました。

## I-Chat Lounge Workshop



〔4月19日(土) Ben Franklin Crafts(六甲アイランド)〕

語学力向上を目的とするI-Chat Loungeでは、様々な異文化体験を提供しようと今回初めてのフィールドトリップを行いました。アメリカ工芸品店を訪ね、日本ではほとんどなじみのないイースターというカトリック教徒のお祭りの由来や祝い方などを英語で学びました。

## 学内会社説明会・学内公務員説明会



〔2月19日(水)～3月4日(火)〕

2月19日から3週にわたり、「学内会社説明会」「学内公務員説明会」を開催しました。毎年、学内で行う説明会をきっかけに内定をいただく学生も少なくありません。就職活動が本格的に始まり、企業訪問や業界研究で忙しい中、少しでもチャンスをつかもうと多数の学生が各ブースで熱心に耳を傾ける姿が見られました。「本学の学生を採用したい!」と意欲みなぎる企業約200社・公務員関係9団体の人事採用担当者と学生の積極的な参加により、「貴重な出会いの場」「業界・企業研究の場」となりました。

今回は5月・6月に就職活動中の大学4年次生・短期大学2年次生を対象に開催する予定です。

## ゴルフワークショップ



〔第1日目: 3月29日(土) ゴルフ練習場、

第2日目: 4月2日(水) 能勢カントリー倶楽部〕

ゴルフを通しての人間形成を目的とするゴルフワークショップを開催しました。平野勝之プロ(ミズノ所属・本学ゴルフ部監督)を講師として以下の内容で実施しました。

- 第1日目 LESSON I ①グリップ・アドレス  
②マット上からの打球練習  
LESSON II ①打球練習  
②アプローチ  
③パター練習

第2日目 ROUND LESSON (9ホール)

参加したジュニアゴルファーたちはエチケット・マナーの大切さ・基本の大切さなど、ゴルフを通してたくさんのことを学びました。

# INFORMATION

May ~

## 庶務課

### 2003 フェニックス フェスティバル ~Hawaiian Night~

6月28日(土) 18:30開場 / 19:00開演

場所: 5号館地下2階アトリウム

入場料: 無料

問合せ先: フェニックス フェスティバル係 Tel (06)6381-7122

対象: 在学生・保護者・一般

### 保護者就職説明会

7月6日(日) 10:00~

対象: 保護者(在学生 大学3・4年次生、短期大学1・2年次生)



## 国際センター

### 夏期海外研修、夏期海外インターンプログラム実施について

研修名(内容)	期間
オーストラリア・インターンプログラム(スクールインターン)	7月31日(木)~8月22日(金) <23日間>
シンガポール・インターンプログラム(旅行業務インターン)	7月31日(木)~8月22日(金) <23日間>
ニュージーランド・インターンプログラム(介護ボランティア)	8月2日(土)~9月6日(土) <36日間>
セント・トーマス大学夏期研修(TOEIC対策プログラム)	8月3日(日)~8月31日(日) <29日間>
トリア大学夏期研修(ドイツ語研修)	8月4日(月)~8月28日(木) <25日間>
カナダアウトドア研修(スポーツ研修)	8月20日(水)~8月30日(土) <11日間>
ケンブリッジ大学夏期研修(英語研修)	8月23日(土)~9月14日(日) <23日間>
オルレアン大学夏期研修(フランス語研修)	9月1日(月)~9月21日(日) <21日間>

### IP (TOEIC学内受験) および ITP (TOEFL模擬試験) 実施について

試験の種類	IP (TOEIC学内受験)	ITP (TOEFL模擬試験)
	TOEICとは、英語によるコミュニケーション能力を評価する世界基準のテストです。IP (TOEIC学内受験) は、一般公開テスト(現在6,615円)に比べ低料金で受験できスコア通知も早く、就職活動の際に履歴書にも記載できます。	国際標準の英語能力試験。特に英語圏の大学・大学院への留学を目指す人には英語力の証明として必須の試験です。正規のTOEFL受験料(\$110)に比べ、低料金で受験できます。本番までのスコアアップのための練習としてご利用ください。
試験日(申込期間)	6月22日(日) (5月12日~6月11日) 10月19日(日) (6月23日~10月8日) 12月21日(日) (11月10日~12月10日)	7月5日(土) (5月12日~6月11日) 10月18日(土) (6月12日~9月24日) 1月24日(土) (11月4日~12月18日)
時間	13:00~15:30	16:10~18:40
受験料	4,300円	2,960円

注)申込受付は、エクステンションセンターで行います。

## メディアセンター・DEC

### 第1回ストーリーテリング・センター

8月6日(水)・7日(木) 場所: 2号館

英語学習としてのストーリーテリングを小・中・高校の教員に分かりやすく紹介し、英語運用能力になぜ効果的なのかを考察していきます。また、パソコンで創作物語を制作するなど、教材作成の実習も交え、語学教育の情報も目指します。さらに、この教員研修は大阪府教育センターとの連携で、インターネットでも配信する予定です。

【お問い合わせ】メディアセンター eits@uta.osaka-gu.ac.jp

## エクステンションセンター

### 2003年 春夏講座 講座一覧

多様な興味・関心にお応えすべく次のとおり多彩な講座を開講します。

資格取得コース	就職対策コース
社会保険労務士平成15年受験速修講座	エアライン試験対策講座
宅地建物取引主任者受験講座	就職筆記試験対策講座
行政書士受験講座	就職面接対策講座
国内旅行業務取扱主任者受験講座	公務員 国Ⅱ・地方上級試験対策講座
一般旅行業務取扱主任者受験講座	大学1・2年生のための就職対策入門講座
ビジネス実務法務検定2級受験講座	
ビジネス実務法務検定3級受験講座	生活・教養コース
販売士検定2級受験講座	クリティカル・シンキング(論理的思考)入門
販売士検定3級受験講座	年令ごとに考える将来設計とマネープラン
簿記検定2級受験講座	カウンセリング入門
簿記検定3級受験講座	エレガントマナー講座(女性対象)
色彩検定2級受験講座	電話応対
色彩検定3級受験講座	星座を学ぼう(小学生対象)
通関士受験講座	紅茶を楽しむ
ファイナンシャルプランナー(FP技能士2,3級・AFP)受験講座	気象予報士入門
インテリアコーディネーター受験講座(1次試験対策)	ウクレレ入門
	マルチメディアコース
	Word入門
	Excel入門
	初級システムアドミニストレータ受験講座
	MOUS受験講座(Word2000一般)
	デジタルカメラ体験
	語学コース
	TOEIC 500点突破講座
	TOEFL 500 (CBT173) 点突破講座
	中国語会話入門
	外国語としての日本語入門
	健康・スポーツコース
	初級テニス(小学校4・5・6年生対象)
	美しいボディーづくりと元気な体づくり

※詳細につきましては、エクステンションセンター

までお問い合わせください。

エクステンションセンター (2号館2階)

(9~17時受付 (日曜日・祝日等を除く))

TEL: 06-6381-8434(代表)

## メディアセンター・国際センター

### PHOENIX CONFERENCE 2003 - Teaching Strategies to Motivate Student Learning -

7月30日(水)・31日(木) 場所: 2・3号館

#### ■ 第7回ELLCプログラム英語教育ワークショップ

中学、高校、塾、予備校など英語教育に携わったがたを対象に、生徒の学習意欲をより一層高める方法を紹介するワークショップを開催します。教育現場におけるIT技術の効果的な活用方法や、英語を活用して意思疎通が図れる人材を育成するために必要な教育方法など、より魅力的な授業作りに役立つ情報を満載し、皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】国際センター ellc@uta.osaka-gu.ac.jp

8月4日(月)・5日(火) 場所: 2・3号館

#### ■ 第5回MELOPワークショップ

小・中・高校教員を対象に、教育の情報化を推進する情報コーディネーターを養成する LAN 構築(基礎)のワークショップを2日にわたって実施します。目覚ましい速度で進むIT化に対応することは、学校教育においても、未来の社会を支える子供たちを育てるという意味で、特に重要な要素となっています。そのような教育現場で、教育の情報化の核となる教員として必要な技術や知識を学んでいただくワークショップです。

【お問い合わせ】メディアセンター media@uta.osaka-gu.ac.jp